

愛恵会だより 2024 年度夏号

黒田邦夫施設長 挨拶

子ども基本法、改正児童福祉法に「子どもの意見表明権」が位置づけられたことから、子どもの意見表明に関わる制度の整備が進められています。

こうした動きに、乳児院の現場は、一定の戸惑いがあります。乳幼児の「声を聴く」、「思いをくみ取る」理念は理解できますが、実践上、言葉を獲得していない又は言葉が未熟な子どもの声や思いを、どこまで把握して応えることが求められるのかが不明確だからです。



事業計画では、『聴かれる権利は乳幼児にもある。言葉では伝えられないが、いろいろな気持ちを泣いたり笑ったりいろいろな表情や声で表している子どもの声を聞こうとする養育者の態度が重要である。だからこそ、乳児院の養育者は、子どもの思いを敏感にくみ取り、子どもの代弁者として、乳幼児が大切にされる養育を実践することが求められる。』とし、

『職員がアドボケイター（代弁・擁護者）になることによって、子どもの権利が尊重され子どもの意見と願いがいつでも聞いてもらえるようにする。子どもの言葉にならない声にも耳を傾け、子どもの想いを反映させる“アドボカシー（擁護・支持）”の役割が養育者には求められる。』としています。

「〇〇してはいけない」「〇〇しなければいけない」と育てられてきた大人が、子どもの権利を制限しないで養育をすることは難しいと思います。職員は、罰を与えることや権利を制限することでなく対話やコミュニケーションをもって、子どもの養育や生活習慣の獲得を支援する実践を創造するトレーニングや学ぶ機会を保障することが大切です。

私たちは、今、乳児院だからこそできるよさを生かして、「子どもの意見表明権」を保障する養育の創造に取り組んでいます。



行事のご紹介

★ 子どもの日

5月5日は、ホールで鯉のぼりの製作をしたり、バイキング形式で昼食を食べたりしました。コロナ禍以降、初めてホールでのバイキング実施ということもあり、初めはやや緊張していた子どもたちでしたが、養育者と一緒におにぎりやフルーツなど食べたい物を選ぶ中で、徐々に緊張もほぐれ、食事を楽しんでいる様子でした。また、夕食後にはケーキを食べてみんなでこどもの日をお祝いしました。これからも元気に、たくましく成長しますように！



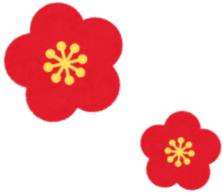
🛒 院外保育

6月に電車に乗って東京あそびマーレへ院外保育に行きました！初めて電車に乗る子どもが多く少し緊張気味でしたが、外の景色や運転席をじーっと観察しながら過ごす様子が見られました。施設内では、ボールプールやアスレチックで思い切り身体を動かしたり、働く車を運転したりして、それぞれの興味のある遊びを自由に楽しむことができました。そして昼食は近隣のスーパーなどへ買い物に行き、食べたい物を自分たちで選んで購入してお腹いっぱい食べました。たくさん遊んでたくさん食べて、大満足の1日になりました♪



お食い初め

調理さんにお料理などを用意してもらい、今回は男の子2人がタキシードなどに着替え、生まれて100日のお祝いをかってよくきめてくれました🍴
にこにこの笑顔でいた子も、口元に料理を運んでいくと「なあに？これ」といったような顔をしたり、何だか分からずあまり表情を変えずにいたり、慣れないことに戸惑いながらも、お祝いすることができました！
美味しいご飯をたくさん食べられますように🍱🍴



お宮参り

お宮参りに行ってきました！
コロナ流行時は、宮司さんに院にお越しいただき、ご祈祷していましたが、コロナも落ち着き、久々に神社でお宮参りを行うことができました。
初めてのことで泣きそうになる子もいましたが、無事にご祈祷していただき、お参りしたり、絵馬を書いてみたりもして、これからの健やかな成長を願うことができ、良い経験となりました🍷🍷



水遊び

プール開きを行い、水遊びが始まりました！

水遊びが大好きな子どもたちは、プールの準備が見えるだけで大はしゃぎ！

水鉄砲が大好きでぴゅ〜っと上手に飛ばし、

大きい子は「ワニさんおよぎ〜」と水に顔をつけずに泳ぐ姿も見られます☆

小さい子も水を怖がることなく、小さいプールに入ってマイペースに楽しんでいます。

プールから上がると“まだ”あそびたいんだ〜！！と泣いてしまう子どもの姿も…
これからも暑い日には毎日プールを楽しもうね！



七夕

7月7日の七夕は皆でホールに集まり、織姫さまと彦星さまの製作をしたり、「たなばたさま」を歌ったりしました。

彦星さまにキラキラの星のシールを貼ったり、

織姫さまに可愛いお花やハートのシールを貼ったり…思い思いに製作を楽しんでいました。

昼食・夕食はおくらや星形の具材に乗った七夕メニューを食べ、

「おほしさまもっと食べる！」と大喜び。

子どもたちは七夕を満喫できたようです。



ホームのご紹介

ひよこ

ひよこホームでは、現在1ヶ月から10ヶ月の子が生活しています。
前の日にはできていなかった事が、次の日にはできるようになっていたり、
声をかけたり触れ合ったりすると「あーうー」とお話ししたり

笑顔を見せて反応してくれるようになってたりと、1日1日の成長と一緒に喜びながら、
ホーム目標である「たくさんの愛情の中でたくさん遊んで笑顔いっぱい元気に大きくなりましょう」を念頭に置き、ひよこホーム
一同、養育に励んでいます  



そら

そらホームは、今年度の5月より3歳以上6歳未満の一時保護児の受け入れを開始し、
現在は1歳から4歳までの子どもが生活しています。

身体を活発に動かすのが大好きで、コンビカーやキックボードに乗ってホールの中を走り回ったり、DVDの音楽に合わせてダンスをしたりして毎日元気に遊んでいます。

また、食欲旺盛な子どもが多く、毎食たくさんおかわりしています。
これからも子どもたちが安心して過ごせるホームづくりに取り組んでいきます。



もり

現在もりホームでは1～2歳半前後の子どもたちが過ごしています。今年度から新たにもりホームに加わったお友達もすっかり慣れ、毎日元気いっぱい過ごしています。大きい子が小さい子の様子を気にかけて、玩具を貸したり頭を撫でたりしてあげていることもあれば、小さい子が大きい子の様子をよく見て真似ていることもよくあり、お互いに意識している姿が見られています。これからも一人一人の気持ちに寄り添いながら、皆で楽しくのびのびと生活していけるよう養育していきたいと思えます。



うみ

うみホームでは現在1歳～3歳頃までの異年齢児で生活しています。

動植物に興味を示し、晴れた日には毎日豊かな自然の中で自由に探索活動を楽しんでいます☆

生活の場面では大きい子が小さい子に「〇〇ちゃん！」と優しく頭を撫でてくれたり、

小さい子同士でも玩具の貸し借りを楽しんだりとお友達に優しく接する子ども達の姿が多く見られるようになっていきます。

子ども達の気持ちを大切に受け止め寄り添い、一人一人が伸び伸びと生活ができるように心がけています。



ボランティアのみなさま



たくさんの温かなご支援やお言葉、また様々なボランティア活動に、
いつも感謝の気持ちでいっぱいです。

毎月のお掃除をはじめ、日常に必要な物品、手作りの玩具、
実物と見まごうようなリアルで可愛いおままごと食材など、
どれも丁寧で温かさを感じる品々を作っていただきました。

子どもたちも一つ一つ手に取り、遊びを楽しんでいます。
子どもたちが楽しくのびやかに、そして健やかに成長できますように、
今後とも職員一同、精進してまいります。

引き続き愛恵会乳児院の子どもたちを、どうぞよろしくお願いいたします。



CoCoひろば

★対象

0歳～3歳未満のお子さまとその保護者さま

町田市以外の方もご参加いただけます！

★日時

毎週火・木曜日

詳細はぜひHPを
ご覧ください。
お待ちしております♪





理念

健康で 明るく 個性豊かな子どもに育てよう

基本方針

私たちは「愛（いつく）しむ心」を大切にはぐくみます

養育方針

心身ともに健やかに成長していけるようサポートします（心身の健康）
子どもを第一に考えて養育します（個性の尊重）
子どもがいろいろな経験をし、自信を持って社会生活を送れる基盤づくりを
サポートします（社会経験）